

27年7月10日

プロジェクト報告書

団体名:社会福祉法人イースターヴィレッジ

自立援助ホーム マルコの家

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

入居者の社会経験拡充

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

近年、家庭から自立援助ホームにやって来る子が増加しつつあります。定期的な旅行が計画され、自立に向けたプログラムも整備されている児童養護施設と異なり、「家庭」とは名ばかりの劣悪な環境で養育されてきた子ども達に、家族旅行や修学旅行の経験はありません。しかし、成長には年齢相応の段階的な社会経験が必要だと考え、また「旅行に行く」という具体的な目標が、就労意欲の向上にもなると思い、事業の計画を致しました。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

入居者の大半は旅行の経験が乏しいため、第一段階として関東圏への1泊観光旅行を計画、実施致しました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

子どもの性格上、テーマパークの苦手な子もいるため、コンサートと美術館鑑賞のコースも設定しました。

また、4月、5月に20歳を向かえ、ひとり立ちした2名も参加したことで、自立した彼らにとっても、入居中の子ども達にとっても「巣立ってから、マルコの家との関係は続いていく」と実感できるとともに、社会人として頑張る先輩の話を聞く良い機会となりました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

TDR、または泊を伴う旅行の経験のない子もあり、出発までは動揺もみられました。

しかし、出発の朝は全員が予定時間までに準備を済ませており、普段の生活の中では見られない一面も垣間見えました。生立ちの複雑さから、新しい経験に対する不安感の大きい子どもたちですが、「来て良かった」と感想を聞くことができ、共通の思い出ができたことは子ども達同士の距離を縮め、円満な関係を築く助けとなりました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

